

銘柄分析レポート：続・苦痛関連銘柄

1 はじめに

食品スーパーが収益低下に苦しんでいます。この第1四半期決算において、営業減益となった会社も少なくありません。

首都圏と近畿に集中展開しているライフコーポレーション（8194）は、24%という大幅な営業減益を計上しました。

平成30年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月11日

上場会社名 株式会社ライフコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 8194 URL <http://www.lifecorp.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 清水 信次
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部副本部長 (氏名) 内田 良一 TEL 03-5807-5722
四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	167,658	3.8	3,015	△24.0	3,106	△21.9	1,963	△22.6
29年2月期第1四半期	161,477	-	3,966	-	3,976	-	2,535	-

同社の決算短信には、言い訳とも受け取られかねない苦しい説明が並んでいます。

- 競争力を強化したことによる荒利益率の減少
- 採用強化に伴う募集費やパートナーの社会保険費用などの人件費
- 運賃・光熱費等の上昇による物件費の増加
- 新規店舗及び既存店舗改装による一時経費負担や償却費の増加

しかし世の中には、このような状況から恩恵を受けている企業が存在します。達人投資家のラルフ・ワンガーが命名した苦痛関連銘柄です。

さらに、事態の悪化に乗じて繁栄するといった類の会社があることも忘れてはならない。たとえば、H&Rブロックは税制が複雑なればなるほど儲かる会社だし、コマース・クリアリング・ハウスは規制に乗じて食べているといえなくもない。保険代理店業者は世の中の危険増加を頼りに収入を増やしている。ワンガーはこの手の銘柄を「苦痛関連」と呼んでいる